



市川市立妙典中学校だより 3月号

息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ～明るく・正しく・美しく～

○ふれあいを大切にする生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○頑張り抜く生徒 令和4年3月23日

〔表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪～世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん～♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中生の育成を目指します。〕

ご卒業おめでとうございます

3月9日（水）、穏やかな晴天に恵まれ、無事、第34回卒業証書授与式を執り行うことができました。感染拡大防止のため内容や参加人数を縮小せざるを得ず、なかでも卒業証書授与が代表生徒のみとなってしまったのは本当に残念でしたが、巣立っていく卒業生、送り出す先生方、見守る保護者の皆様の様々な思いがしっかりと感じられる、とても良い式になりました。



卒業生の姿勢は終始、きれいに背筋が伸びて誰一人動かず、本当に立派でした。そしてそれは強要されたものではなく、穏やかで凛とした心が自然に表れたものだということが伝わってきました。担任の呼名にこたえる卒業生の返事は、みな力強く、感謝の気持ちと決意がこもっていました。以下に載せた式辞でも述べましたが、これまで妙典中を引っ張ってくれた素晴らしい卒業生の皆さんに、改めて感謝の気持ちとエールを贈りたいと思います。今までありがとう。これからも頑張ってください。



春の穏やかな日差しを受け、校庭や江戸川の木々や草花に、生命の息吹を感じはじめた今日の佳き日に、PTA本部役員の皆様、並びに保護者の皆様にご臨席いただき、ここに「第34回 卒業証書授与式」を無事挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

283名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんと出会った年度のはじめ、例年通りの学校生活が送れない状況が続く中、「私たちは『かわいそうな中学生』ではありません。今まで誰もしたことがない経験を積むことができる『特別な中学生』なのです。他にはない中学校生活を自分たちの手で作り上げていきましょう」と3年生の代表が全校生徒に力強く語り掛けるのを聞いて、非常に感銘を受けました。

そして、その言葉通り皆さんは、様々な取組や行事を状況に応じて工夫しながら「生徒主体」で作り上げ、素直な心で何事にも前向きに取り組んでくださいました。

「心の距離を密にして」のスローガンの下、制約をもものともせず全力を出し切った体育祭での逞しい姿、千葉県其自然と文化を再発見し、仲間と共有する時間を心から楽しんだ「特別な修学旅行」での笑顔、面接で自分の長所や将来の夢を語ってくれた時の希望に満ちた表情、そしていつも変わらない、素直で元気な挨拶。担任の先生方、一人一人への気持ちがこもった呼名を聞きながら、皆さんが妙典中生として大切に歩んだ日々、様々な場面が浮かんできました。

皆さんはこの一年、頼もしいリーダーとして、学校を引っ張ってくれました。「挨拶」や「生徒主体」に妙典中生としての誇りを持ち、活き活きと活動する皆さんの姿勢は、下級生にしっかりと受け継がれたものと思います。妙典中を代表して「おめでとう」と同時に、「ありがとう」という気持ちを贈りたいと思います。

さて、義務教育の課程を終え、明日からそれぞれの道を自分の足で歩き始める皆さんに、伝えたいことが三つあります。

一つ目は、今までも機会あるごとに伝えてきたことですが「人は皆、一人一人が、ありのまま、そのままでかけがえのない存在だ」ということを、いつも忘れずにほしいということです。これから先、いろいろなことがあると思いますが、どんなときにも「かけがえのない存在」として自分を認め、自分を大切にしてください。そして、同じように周りの人を大切にしてください。

二つ目は、「出会いを大切に、夢中になれるものを見つけてほしい」ということです。「夢中に勝る努力なし」という言葉があります。何かを成し遂げるためにはあきらめずに努力し続けることが大切なのは言うまでもないことですが、「夢中」になれることに出会った人は、はたから見ればつらい努力も全く苦にならず、そのことにとことん打ち込むことができるものです。新しい環境の中で、「夢中になれること」に出会えるよう、好奇心をもって周囲にアンテナを張り、積極的にいろいろなことに挑戦していきましょう。

三つ目は、「未来を拓く喜びと希望を持って力をつけ、力を発揮してほしい」ということです。皆さんが教室で毎日目にしてきた学校教育目標を覚えていますか。「未来を拓く妙典中学生」です。「未来を拓く」の「拓く」という字は、「扉を開く」などのときに使う門構えの漢字ではなく、手偏に石と書きます。まだ誰も踏み入れたことのない新しい土地を、自分の手で石を一つ一つつけて、切り拓いていく様子を表しています。これからの時代は変化が激しく、予測困難な時代と言われています。3年間、未来という新しい大地を、自分の手で切り拓く力を身に付けることを目標に、日々自分を磨いてきた皆さんですから、「希望」と「喜び」を持って、未来に向かって歩んで行ってほしいのです。



保護者の皆様には、小学校から9年間、毎日お子様の健やかな成長を願い、心をくだいてきたことと思います。あらためてお祝いを申し上げます。また、これまで、本校の教育に温かいご理解とご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。保護者の皆様、そして本日は残念ながらご臨席賜ることができませんでしたが、本校を支えてくださっている皆様方に、今後とも変わらぬご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。式辞といたします。

表彰等の記録

- ・千葉県小・中・高校書初め展覧 書星会賞4名 特選4名 金賞12名 銀賞6名
- ・ちばジュニア強化指定選手 バasketボール 女子2名



防災教育の日



2011年3月11日…東日本大震災は、私たちの防災に対する意識を大きく変えました。あの地震を経験して強く実感した防災に対する意識を毎年再認識し、亡くなった人たちやその遺族、未だ元の生活に戻れずにいる人たちに思いを寄せるため、市川市では3月11日を「防災教育の日」と決めました。

今年は、3年生が卒業する前の3月4日(金)に「防災教育の日」の取組として、黙とうを行った後、教育長のメッセージを聴き、防災のビデオ視聴、安全行動訓練、災害発生時の行動を自分で考えて意見交換をする活動などを実施しました。

今の中学生は11年前、まだ小さく、震災のことはあまり覚えていないかもしれません。これからは、大正12年に発生した関東大震災に因んで国が定めた9月1日の「防災の日」と同じように、3月11日「防災教育の日」は、記憶にない世代に、あの日の教訓を実感を含めて伝えていく日になっていくのだと思います。

小学校出張授業



3月11日(金)～15日(火)にかけて、3年生の先生方が、学区の小学校(妙典小・塩焼小・幸小)に出張授業に行ってきました。算数(数学)は確率、国語は詩の味わい、理科は顕微鏡の使い方、社会は世界の大陸、英語は授業で使う英会話フレーズなど、少しだけ高度な内容を中学校の先生方が楽しく、分かりやすく教えてくれたとあって、6年生はとても喜んでいました。みんな素直で明るく、元気いっぱい。先生の投げかけにどんどん発言し、グループワークや英会話など活動の場面では実に楽しそうに取り組んでいました。多くを妙典中に迎える4月からの姿がとても楽しみにになりました。また、小学校の教室で実際に行った授業は、中学校の教員にとっても貴重な経験になったと思います。

学校保健委員会



3月17日(木)に学校保健委員会を開催しました。年度初めに作成した「ヘルシースクールプラン」をもとに、「体力向上」「生活」「食育」「環境衛生」など、様々な面から子供たちの健康や体力の向上を図ってきた1年間の実践について、各担当職員(保健主事、生徒指導主事、体育主任、給食主任、環境美化主任、安全主任、栄養士、養護教諭、管理職)に、保護者代表としてPTA本部からお二人と、アドバイザーとして学校運営協議会委員でもあり6月のヘルシー講演会の講師も務めていただいたプロコーチの青山剛さんにも参加していただき、話し合いました。各担当から報告のあった今年度実践した取組はそれぞれ有意義なものでしたが、コロナ禍での運動機会の減少や生活リズムの乱れが、体力や心身の健康に及ぼしている影響についても、懸念材料として改めて確認されました。最後に青山コーチから、保護者や教職員の質問も踏まえ、健康に対する考え方や、効果的な運動のコツ、ケガの防止、心の健康などについて多くのアドバイスをいただきました。明らかになった成果と課題、いただいた助言を来年度の学校保健の取組に生かしていきたいと考えています。

1・2年球技大会



3月22日(火)に1年生、23日(水)に2年生が球技大会を行いました。生憎の悪天候の影響で両日もグラウンドが使用できず、「雨天バージョン」となりましたが、体育館をいっぱいに使って複数のボールで行ったクラス全員参加のドッジボール大会や、武道場や教室にラインを引いて工夫して行ったポッチャ大会を、1・2年生とも心から楽しんでいました。両学年とも準備から当日の運営、後片付けまで体育委員の働きが素晴らしく、またそれに応えてスムーズな進行に協力し、素直な気落ちで盛り上がる学年の生徒たちの姿もとても素敵でした。

校長室より…



2階にある校長室のすぐ下は、生徒昇降口になっているので、終業時間が過ぎると一日を終えてほっとした気持ちで帰路に就く、子供たちの楽しそうな会話が聞こえてきます。

ときになかなか困難な課題を抱え、どうしたものかと行き詰っているときも、そんな子供たちの声に心癒されてきました。他にも楽器の音色や合唱の歌声、ボールがバットやラケットに当たる音、竹刀の音、運動部の掛け声…放課後の様々な音は本当にいいものです。

今年度も、例年と異なる様々な状況に対応を迫られる日々が続く一年でしたが、生徒たちは素直な心で常に前を向いて学校生活を送ってくれました。保護者の皆様には、心強いご理解とご支援をいただき、その時々最善と思える教育活動を継続することができました。心より感謝申し上げます。

4月からは新入生、そして新入・転入教職員を迎え、新たな妙典中のスタートとなります。引き続き、「未来を拓く妙典中生徒」の育成のため、尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。